

美しい自然と地域イベントに触れた2日間

KAIYO



フィールド研究 2024
四国大学 生活科学部 人間生活学科学科

Field Research in KAIYO

はじめに
スケジュール
海陽町について
海部高校美術部とアイデア出し
学生4チームのデザイン
最終のデザイン案
1日目の作業について
2日目の作業について
とれとれ市について
苔アート完成について
自己評価から
今後の苔アート活用案（海陽町を盛り上げる取り組み
感想とまとめ
謝辞
全体のデザイン編集と完成

はじめに



9/26 海陽町 産業振興課の方々との事業説明

10/12 現地で情報収集・海部高校美術部員の皆さんとミーティング

10/17 原案を元に、3グループに分かれ海陽町役場の方々にアイデアの発表

11/28 デザイン案が決定

12/14 現場作業開始

1日目下書き 2日目 削り・蓄光塗料 塗布

Schedule



Ozato Matsubara Beach



Todoroki Falls



なかなか見ない野生の動物に出会えたり、空気が綺麗で海のコントラストもはっきりしていたり同じ徳島でもここまで違うものなのかと驚き！

特に海岸は印象に残っており、「青の壁に囲まれてるみたい！海が近い町

に住みたいと思うようになった！」、「自然に発する群青色を徳島でみられることに感動！」というコメントも寄せられている。

#4 海部高校美術部生と アイデア出し



海部高校 美術室にて

2024/10.12

高校生と関わってデザインを考えたことで、より地域や地元に関付いた作品作りができた。

実際に会って話をすることや円滑にアイデアを出し合うことが出来た。アイデアは付箋にたくさん書き込み黒板に張り出したあと、類似しているものを分類し実際に絵にかき起こしていった。高校生の皆さんが初対面とは思えないほどフレンドリーに接してくれたおかげで私たちも緊張せずいい案が出せたと思う。

アイデア出しを終え、みんな近くのお店へ出向き、おいしいパンやスイーツなどの軽食もゲットし、良い思い出になった。

学生3チームのデザイン案



4.5m

TEAM 「だるま朝日」

- ・海とだるま朝日で美しい自然をアピール
- ・しこぽんがふるるんに会いに来たシーンは海陽町と四国大学とのつながりを表現している。
- ・海陽町の地図を大きく描きインパクトのあるもの且つ地元の人にも愛してもらえるデザインに
- ・フォトスポットを採用→SNSで拡散してもらいやすくなる

2.5m



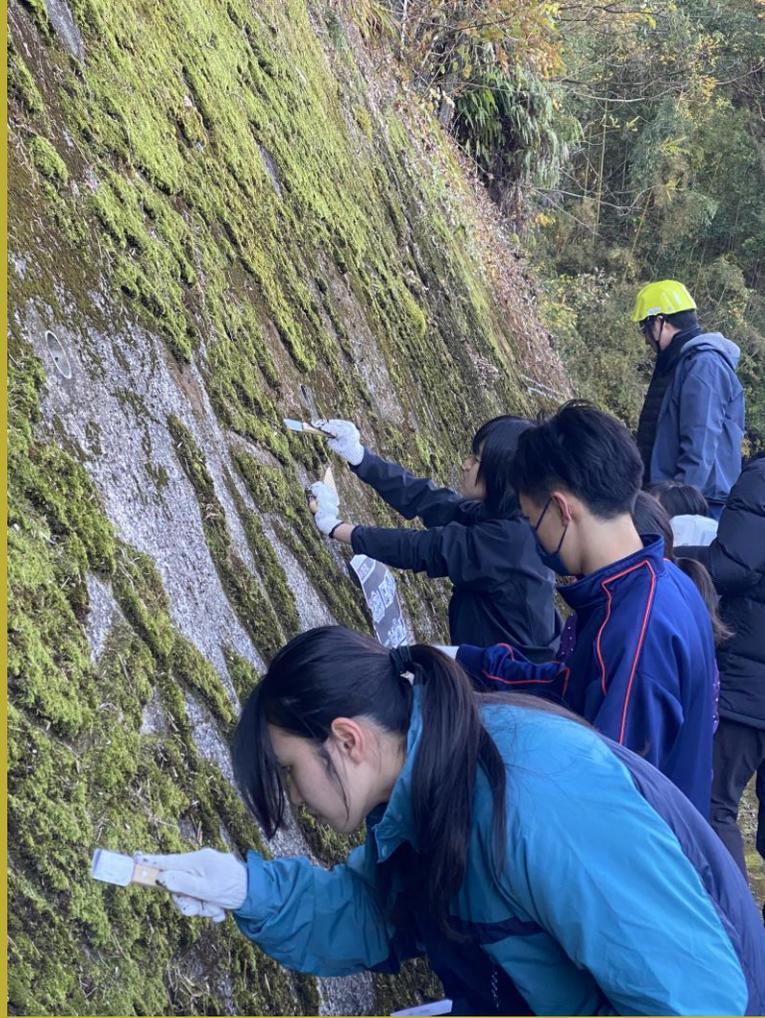
TEAM 「K₂O」



TEAM 「ふるさと納税」

DAY1





DAY2



完成

とれとれ市について

- **餅投げ**

餅投げの激戦を初めて味わうことができた。

- **直産市・出店**

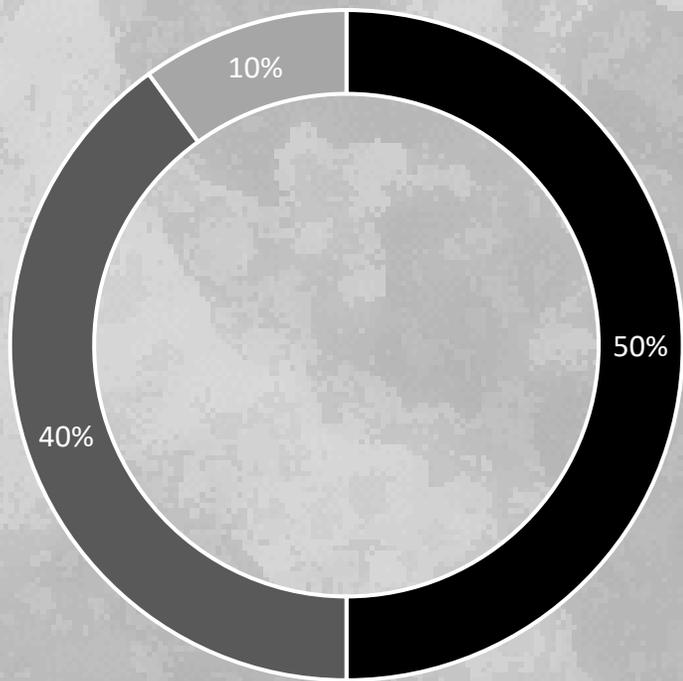
海鮮系が多くておいしかった。

買った魚を捌いたときに身がきれいで引き締まっていて
あら炊きにしても刺身にしてもおいしかった。

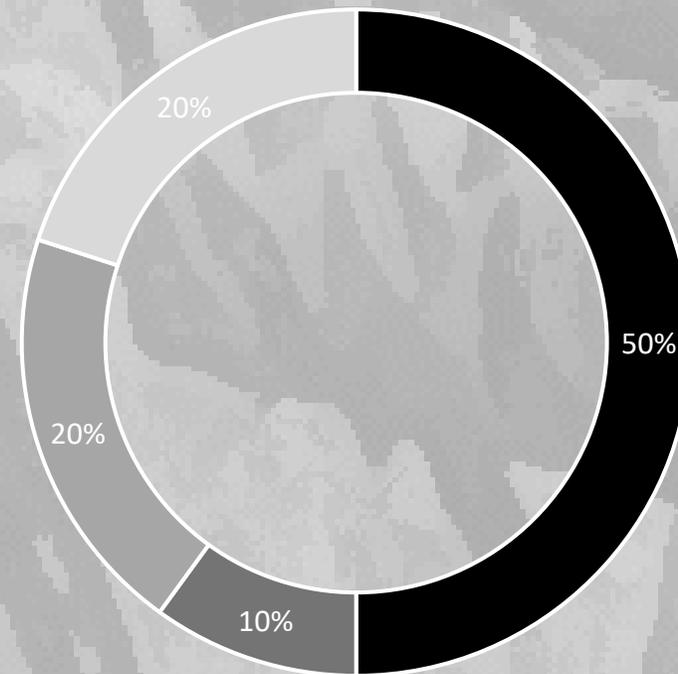
地元の人たちでにぎわっていてお祭りみたいで楽しかった。

何も買わなくても雰囲気だけでも楽しめた。

フィールドワークを通じて、
地域の様々な事象について考えることができた。



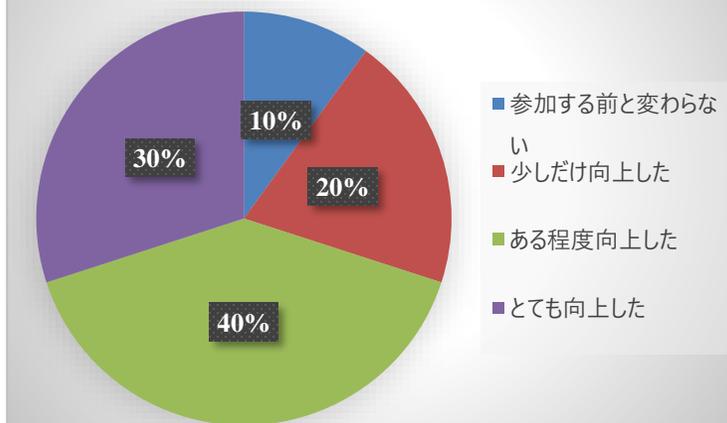
事前の準備作業（デザインの表現）



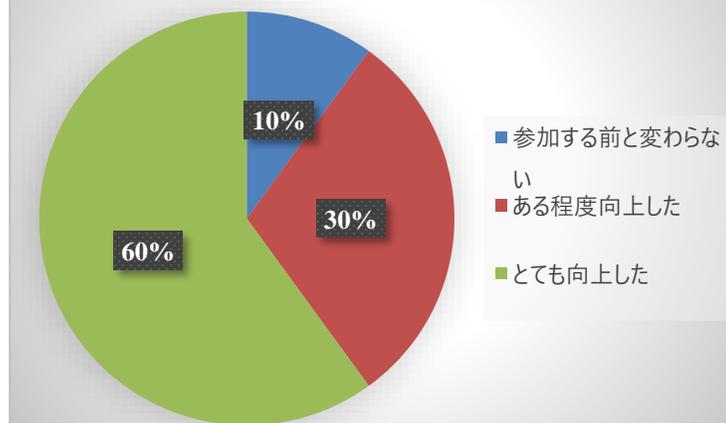
- かなり順調にできた
- まあ順調にできた
- やや難しかった
- かなり難しかった

自己評価から

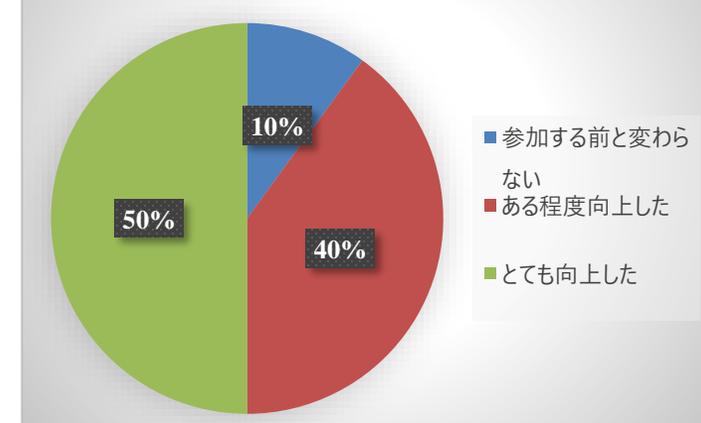
創造力



協調性



判断力



今後の苔アート活用案 (海陽町を盛り上げる取り組み)

- フォトスポットであるので、SNSに苔アートを投稿し、拡散する。
- 海陽町のパンフレットや広告などに掲載していただき、SNSを使っていない人にも認知してもらう

感想とまとめ

- 海陽町で苔アートを通じて自然の美しさやゆっくり流れる時間を感じた
- 仲間と協力し、作品を作り上げる過程と完成時の喜びを学んだ
- とれとれ市で海産物購入やもち投げなど、地域の魅力を楽しんだ

謝 辞

今回ご協力いただいた

海陽町役場 様
海部高校 様

のご協力が無事終わることができました。ありがとうございました。
学生一同またお会いできる機会を楽しみにしております。

ご清聴ありがとうございました

四国大学 生活科学部 人間生活科学科



人が集まる「人」をつくる、大学。

